

**沖縄戦「集団自決」の検定意見**



# 「強制」削除 文科省の自作自演

## 衆院予算委 赤嶺政賢衆院議員 撤回を迫る

高校日本史の教科書検定で、沖縄戦での「集団自決」に日本軍の強制があったとする記述を削除する発端となった「調査意見書」を文科省ぐるみで作成——10月11日の衆院予算委員会で、日本共産党の赤嶺政賢議員の質問で明らかに。以下、質問の要旨です。

### 検定意見撤回は県民の総意(赤嶺) 重く受けとめたい(首相)

◎赤嶺政賢衆院議員 9月29日に沖縄で教科書検定意見撤回の県民大会が開かれ、11万人余が集まった。41市町村長すべてが参加し、県民の10人に1人が大会に結集した。なぜこれだけの人々が集まったと考えますか。

民の方々が、60数年前に受けたあの悲惨な出来事を思い起こし、次の世代にもつなげていこうという気持ちがああ大会になった。その思いをこれからも重く受けとめてまいりたい。

●福田康夫首相 沖縄県

◎赤嶺議員 県民の思いは、教科書検定意見の撤回、それと記述の回復だ。

### 記述変更へ、専門的審議あったのか(赤嶺) 専門委員から意見は出されていない(文科省)

◎赤嶺 20年間、沖縄戦の「集団自決」の軍の強制的関与は教科書に記載されてきた。(意見をつけたのは)文科省の常勤職員である教科書調査官がまとめた調査意見書が発端だ。

4人の印鑑が押されまして、起案者の印があり、そして係長、専門官、企画官、課長、それから総合調整課長、審議官、局長、合計7名の印鑑が押されて、その中に調査意見書として、「日本軍によって…あるいは集団自決に追い込まれた住民もあつた」という部分について、「沖縄戦の実態について誤解するおそれのある表現である」と書かれている。

### 審議会に沖縄戦専門家いない

◎赤嶺 (審議会の)学術研究者、審議会の中に、小委員会や部会の中に、沖縄戦の専門家はいたのか。

●金森越哉初等中等教育局長 教科書検定調査審議会の審議の結果、軍の命令の有無について断定的な記述を避けることが適当で、検定意見を付した。

◎赤嶺 文部科学省原議書には、主任教科書調査官

●金森 教科書調査官が委員や専門委員、教科書調査官の調査の結果を取りまとめ、審議会に提出した。

### 検定意見に固執する文科省こそ政治介入

◎赤嶺 軍の強制的関与によって自決に追い込まれたという表現が、文科省の二役人の起案で削除されることと許されるんですか。

●首相 文部科学大臣にしっかりと対応させる。

◎赤嶺 調査官は文科省の職員ですが、自分の意見をまとめるときに、専門家の意見を聞くことになってます。今回、審議会の委員や臨時委員、専門委員から意見は寄せられたのか。

●金森 沖縄戦「集団自決」に関して専門委員等か



写真右2人目から仁比聡平参議院議員、市田忠義書記局長、赤嶺政賢衆院議員、田村貴昭衆院九州・沖縄国政対策委員長ら(9月29日県民大会)